
貴方が騎士を目指すなら。

進藤 翡翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貴方が騎士を目指すなら。

【Nコード】

N9404Y

【作者名】

進藤 翡翠

【あらすじ】

ある王国の片田舎。幼馴染は「騎士になる」と言った。

王国の片隅にある小さな田舎の村。畑仕事の休憩中に、私の幼馴染、ローベはどこからか手に入れた木材を一心に削っていた。何をしているのか、と尋ねれば、「剣を作っているんだ」と彼は答えた。それから畑仕事の休憩や、仕事終わりに、剣を作っているのを多く見るになった。数ヶ月の後に、見事な木の剣が出来上がった。

真っ先にそれを私に見せてくれた。

ローベは自慢げにその剣を振って見せた。空中でぶんぶん振って、腰に差した。

「俺、騎士になりたいんだ」

恥ずかしげもなく、ローベはそう言った。私は馬鹿馬鹿しくて笑ってしまった。こんな平和な時代に、騎士になろうと思うなんてと思ったけれど、彼は本気のようなだった。剣を完成させた次の日にはまた森に行つては、手頃な木材を集めていた。次の月には、木地的を作ってしまった。畑仕事が終われば、木の剣を持ち出して、その的を相手に剣術を磨くといった日々が続いた。最初は大人達も面白がつて、ローベに木の剣を作つて貰い、剣術の相手をしていた。

だけど、誰もローベの言葉を冗談だと受け止めていた。

ローベが十八になった日に、彼は畑仕事で得た収入を貯めていたらしく、街で剣と新しい道具袋と、丈夫な服を買つて帰つて来た。その夜、身支度を整えた彼が私の家にやって来た。私の家ではなく外で、村の脇を流れる川辺に腰掛けた。

「俺、今日、この村を出ようと思うんだ」

「本当に騎士になるの？」

ローベは、微塵と変化していない決意を瞳の奥に据えていた。

「うん。まずは王都に行つて、騎士学校に入ろうと思う」

「じゃあ、出発前に私に会いに来たつて事なんだ？」

「まあ、幼馴染だし」

ローベは照れ臭そうに頬を人差し指で掻きながら呟いた。私は彼の横顔を見ながら、思い立って、髪を束ねていた紐を取って、彼の腰のベルトに括り付けた。

「何これ」

ローベは、私が括り付けた紐を触りながら頭を傾げた。

「あげる。応援してるから。頑張って」

私がそう言うと、ローベは照れ臭そうに頬を赤らめた。

「俺が騎士になったら、この村に帰って来るから。その時は」ローベは、途中まで言い掛けて、ううん、と頭を左右に振った。ローベは、先にある未来を見据えるように遠くの空を見た。「絶対に騎士になるから、その時まで待っていてくれ」

夜が明けるよりも早く、ローベは村を出発していった。最低限の荷物と、片腕では持てない程の大きな夢を抱いて。私は彼の後ろ姿を見送りながら、ずっと言いたかった事も言う事が出来ない歯痒さを噛み締めた。ううん。言えなかったんじゃない。言おうとしなかった。ローベの「騎士になる」という夢の前には、「好き」という言葉は障害にしかないのだろうと、どこかで理解していたから。想いを押し殺して、「ただの幼馴染」として彼を見送る事だけが、私に出来る事だと思った。

あれから数ヶ月。私は畑仕事をしながら、ローベが騎士になるために努力している姿を想像しながら、今日も彼の帰還を待ち侘びている。

（後書き）

ファンタジー物で旅立つ青年を見守る幼馴染目線で。

自分一人では不安とかに押し潰されたりするけれど、

誰かが待っていてくれるから頑張れるって事はあると思うんです。
そんな人が自分にも居てくれたら、と思いつつ書いた掌編です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9404y/>

貴方が騎士を目指すなら。

2011年11月28日01時55分発行